

社会人のための情報システム誌
— 経営近代化のシステム研究 —

Computer Report 3

2015 No.726

3 はじめの言葉

4 情報処理の原点

人材の不足がもたらす苦悩

田原文夫

情報リテラシーが言われて久しい。昨今では学童世代からシニア世代まで幅広く対象にされているようだが、当初から対象とされてきた企業人の情報リテラシーにも依然として大きな課題があるようだ。特に昨今喧伝されているビッグデータ分析の現場で、それはクローズアップされているという。要するに、豊富な情報に囲まれる環境にあっても十分に処理する能力を有する人材が不足しているようだ。

10 情報社会を考える その54

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

日本の資金運用黒字

国民年金と厚生年金を市場運用する年金積立金管理運用独立行政法人(GPIS)は、2014年10月~12月の運用で、6兆6233億円の黒字となったと発表した。GPISの運用資産額は、2014年12月末現在、四半期ベースで過去最高の137兆358億円。黒字額は自主運用開始以来、過去2番目の高さ。その理由としては、①株式市場が国内外とも好調だった、②円安で外国債券の評価額が上昇、③外国株式投資を増やしたこと、などが挙げられている。まさに資本主義経済の神髄「富める者はさらに富む」、「持てる者の利益増」を象徴する現象である。しかし、当然にしてこの額に匹敵する損害を負担している存在がある市場だということを確認しておきたい。しかも、今回の運用利益増の理由と同じ理由で運用損が発生する可能性があるということも。

12 日本再生/世界競争力回復のカギ

何故 M-B I M構築が必要か その49

水田 浩

オープンガバメント OG 15 工業化社会をデジタル化する

1990年代に紙によるワークフローがメインフレームと端末を使って事務系、技術系で個別に行われるようになり、1995年代にはインターネットが使われるようになった。そして、個別に開発されたシステムをより早く、より安く、より良く使うために製品やシステムのライフサイクル全体の統合化を模索するようになっていった。そして産業別、国別のシステムとデータを世界共通にしなければならないという認識が起こっていった。CALISの「情報は一度作って、幾度も使う」という運動は世界規模で受け入れられた。一つのCALISという概念(言葉)で1995年から2005年にかけて世界中が一つになって運動を起こすようになった。

18 連載 アーキテクチャ論 (47)

アーキテクチャ分析法

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 情報連携統括本部 情報戦略室 教授

Dobrica と Niemelae がシナリオに基づくソフトウェアアーキテクチャ分析手法をサベイしている[1]。本稿では、この論文に従って、シナリオに着目してソフトウェアアーキテクチャを分析する手法を紹介しよう。

26 連載 日本再生と人材育成

人口減少／少子高齢化時代への挑戦 その2 Dr.ベスト

日本の人口減少は 2011 年に始まったとされるが、今後も長期にわたり人口の減少が見込まれている。また、日本においては少子高齢化が顕著で、全人口に占める 15 歳未満人口の割合は 13.1% (平成 22 年) から 10.0% (平成 52 年) に減少する一方で、65 歳以上人口の割合は 23.0% (平成 22 年) から 36.1% (平成 52 年) に大きく増加する。日本の社会保障制度は現役世代が高齢者を支える面もあり、平成 52 年には 1 人の高齢者を 1.5 人の生産年齢人口 (15-64 歳) で支える時代の到来が見込まれる。社会保障制度以外に目を向けても、人の働き方・雇用の在り方、老後の過ごし方や老後を支える家族、地域、社会のあり方、人の生き方などが今後変化していかなければならず、世界に先駆けた人口減少／少子高齢化時代への挑戦が必要となっている。まず、マクロ側面として人口減少／少子高齢化へのマクロ的な動向・予測や影響を総務省、厚生労働省、文部科学省や国立社会保障・人口問題研究所等の推計や予測を基に概観することにしたい。

34 IT 新時代とパラダイム・シフト

第64回 ペットロボットを

生身のペットとして扱う時代を迎えて 根本忠明

「21 世紀は、人とロボットと暮らす時代」といってよい。人とロボットとの共生が、新しい段階に入り始めている。そう感じさせる話題が、相次いでいる。これまでは、ロボットセラピーといった癒し効果が注目されてきた。それが、人とロボットとの間の簡単な感情表現や感情移入が可能になり、ロボットは機械ではなく生身の生き物として捉えるべきものになってきている。今回は、この問題について、考えてみたい。

36 続インテリジェンスへのいざない 62

ビッグデータ分析のポイントと留意点

今井 武

今、ビッグデータ分析が盛んに喧伝されている。競合他社／余人に先んじて市場ニーズ情報を得たいというのは、今も昔も変わらない。コンピュータ活用が始まってかなり早い時期からの願望である。そこに、ビジネスインテリジェンス (BI) という概念が生まれた。

39 連載 四字熟語カトレーニング

すぎやまチヒロ

セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで
株式会社 日本経営科学研究所
ComputerReport編集部

cr-info@jmsi.co.jp

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版
データ・ウェアハウス

定価 本体 2,816円+税 送料(〒300) A5版 289頁

石井 義興 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 目録が必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスのサポート
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの相違点	第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス	第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとネストド・リレーショナル・モデル	第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正規化の問題点とデータ・ウェアハウス	
第六章 データ・ウェアハウス管理システム	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス
OLAP

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 これまでのEUCIでできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構築
第三章 Code博士によるOLAPプログラムの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 181頁

田原文夫 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

aism 研究活動報告
インターネットセキュリティの
落とし穴

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修
aism情報セキュリティ・マシントリニティ 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM、KLEZの監視と駆除
第二章 aism情報セキュリティマシントリニティ研究会の発足	第十二章 メールが通らない
第三章 認知される電子署名方式の基本原則	第十三章 生体ネット運用のための
第四章 世界を駆けめぐったCodeRedワーム	第十四章 最新のインターネット防衛準備心得
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの対応体系の構築	第十八章 セキュリティポリシー作成にあたっての
第九章 情報セキュリティ情報研究会の発足と課題	第十九章
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！
トップ主導の
情報システム革新

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 271頁

高田 顯重 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 213頁

安田 聖 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分解方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方型式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計算方法	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ！というときの(得)広報』
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,746円+税 送料(〒300) A5版 289頁

加藤 洋一 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 売れない企業体質
■ ニュースリリースは東方向運賃	■ 守るも攻めるも広報が窓口
■ 活字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	<付> 監修とうまく付き合う16の鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク
がんばれ、国際グローバルサーバー—
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,846円+税 送料(〒300) A5版 266頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 発端	第十一章 日本開発手法の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米商チーム崩壊の危機
第三章 新しいシステムへの働き	第十三章 新たなチーム
第四章 WOOIに向けて	第十四章 米商事務所移転と新たな組み
第五章 FJO、IBM競争	第十五章 開発フル稼働とバリエーション
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本運用体制と本番稼働日誌
第八章 米商チーム立ち上りの流れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大きな壁、突如のコミュニケーション	第十九章 稼働中の一 直前、稼働、直後の苦しみ
第十章 米商チーム、異なる三人組	第二十章 稼働中の二 安眠薬と北米センター移設

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp